

市長が行く

今を準有事と考える

コロナワクチンの接種について、この地域（1市6町村を含む広域行政）でも国の主導に基づき、ワクチン接種に関する会合を何度も行いました。予想される混乱をなるべく避けるために、私も、例えば体育館等を使用した集団接種を早めにできるようなシミュレーションを考えるとか、あるいは、高齢者接種においてシヨンを考慮とかさまざまな提言をしました。

65歳～74歳、75歳～84歳、85歳以上などの年齢別に申し込みを受け付けるとかさまであることになります。また、このウイルスとの闘いを終わらせるための効的な手段として、私は、ロツクダウンすることも必不可少。緊急事態宣言やら、まん延防止等重点措置などと言っている場合ではないの

も、この地域は医療過疎であり、また、働き方改革で看護師に残業をお願いできることとかのさまざまな問題が生じ、強制力のない今の地方自治体は、至るところで法律が壁になり動けなくなってしまいます。今は準有事といつてもいいように非常時です。このような非常時に、法律の壁に行く手を遮られ、有効な手段を取ることができず、手をこまねいていることにイライラを通り越して怒りさえ覚えます。

中途半端なやり方ではこのウイルスとの闘いには勝てません。1カ月とは言わなくとも10日から14日ほどロツクダウンをし、そのうえでワクチンを打つ。何かを選ぶということは、他の何かを犠牲にするということです。そしてその犠牲にすることが、命であってはならないと思います。

（5月15日執筆）



No.128

茂原市長 田 中 豊 彦